

# 発達障害について 考えてみませんか？

「発達障害」という言葉を聞いてピンとこない人も、自閉症やアスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害といった診断名は耳にしたことがあるのではないでしょか。

「発達障害」というのはそれらを総称した呼び名です。また仮に「発達障害」と診断されていたとしても、それぞれの個性や発達状況、年齢、置かれた環境などによってあらわれる症状はさまざまです。

そうした一人一人のことをしっかり受け止めようとともに、「発達障害」についての理解を深めてみませんか？

大阪市発達障害者支援センターの近藤伸爾所長に聞きました



大阪市発達障害者支援センター  
所長 近藤 伸爾

## 最近は日本でもドラマのストーリー等で取り上げられ、理解・啓発が進むようになりました

たとえば1980年代に公開された映画「レインマン」など、アメリカでは早くから自閉症スペクトラムについての理解・啓発が進められていました。つまり、国としての特別な支援が必要だという風潮がすでにありました。ですが、日本でアスペルガー等が取り上げられるようになったのはせいぜい10年ぐらい前。それも世間一般の方にきちんと伝わるようになったのは、ほんの2、3年前でしょうか。スマップの草彅剛さんのドラマ「僕の歩く道」や嵐の二宮和也さんのドラマ「マラソン」といった、自閉症の症状をていねいに描いた作品もテレビで放送されるようになりましたから、このあたりをきっかけに「発達障害」に関心を持たれた人も多いと思います。

## 心の病気ではなく 脳の中枢神経系の障害。 近年は相談件数も 増加の一途をたどっています

発達障害というのは、脳の機能障害に帰因するものであって、親のしつけや教育、あるいは愛情不足でなるような心の病気ではありません。現在、研究等で

発表されている数字も全体から見ると5～6%。大げさにたとえると、学校で1クラスが40人だとしたら1～2人がそうであっても全然おかしくありません。

近年は相談の数も増加の一途をたどっていますが、もしかしてご自分やお子さんが自閉症じゃないかと思われる場合には、自閉症の3つの特徴（人とうまくつきあえない、コミュニケーションがうまくとれない、想像力に問題がある・こだわりが強い）がすべて幼年期（3歳まで）にあったか、ということが重要となります。また、知的障害をともなわない自閉症スペクトラムの人の中には「これをしたら怒られる」といったように1対1対応で行動を理解・学習していく、普段の行動面ではまったく気づかれない人もいます。つまり賢い人が多く、ある意味、演技をしてしまうのです。

それでも、たとえば人のモノをとってはいけないとか人を叩いてはいけないといった、そういうあたり前のこととは、僕らはだれに教えてもらうこともなく、自然に身についてきたわけです。でも彼らのなかには、そういう暗黙のルールを理解できない人も多くいます。だからできるだけ早く見つけ、できるだけ良い支援をしていくことが重要です。発達障害そのものが治ることはありませんが、行動は改善されていきます。

## (国及び地方公共団体の責務)

【第三条】国及び地方公共団体は、発達障害者の心理機能の適正な発達及び円滑な社会生活の促進のために発達障害の症状の発現後できるだけ早期に発達支援を行うことが特に重要であることにかんがみ、発達障害の早期発見のため必要な措置を講じるものとする。

## 第二章 児童の発達障害の早期発見及び 発達障害者の支援のための施策

### (教育)

【第八条】国及び地方公共団体は、発達障害児（十八歳以上の発達障害者で

## 《発達障害者支援法（平成17年4月1日施行）抜粋》

### 第一章 総則

#### （定義）

【第二条】この法律において「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

# 発達障害とは？

## 自閉症スペクトラムの特徴（3つ組の障害）

自閉症の人は3歳くらいまでに3つの特徴があらわれます。

### そのほかの特徴

- 目で見たものを覚え、理解することが得意。（視覚優位、フラッシュバック）
- 言葉による理解は苦手。
- いろいろな感覚に特徴がある。  
**音**…多くの人が気にしない音に敏感に反応したり、反面、ガラスをつめでひっかいたような嫌な音が平気なことがある。
- 触覚**…ちょっとさわられただけで、とても痛みを感じたり、皮膚に直接さわる下着などのタグが気になり、タグを取らないと着ようとしないことがある。
- 運動発達**…乳幼児期、はいはいを始めたたら、すぐに歩くことができた。歩き始めたら、すぐに走り出した、等の運動発達の特徴が見られることがある。
- ことば**…話しことばでの表現は全般的に苦手であるが、話し始めが早いタイプもある。関西で育ったのに、標準語で話す等、方言を話さないことが多い。
- 能力のばらつき**…個人内能力のばらつきがあることが多い。

## 発達障害は中枢神経系（脳）の障害です

発達障害は基本的に脳の機能的な問題が原因で生じる障害であって、親のしつけや愛情不足でなるような心の病気や本人の性格的なものではありません。また人によってさまざまなあらわれ方をします。発達障害の代表的なものとして、広汎性発達障害（自閉症）、高機能広汎性発達障害（アスペルガー症候群・高機能自閉症）等の自閉症スペクトラムと、注意欠陥多動症候群（ADHD）、学習障害（LD）などがあります。その障害の原因として、中枢神経系が生まれつきうまく働くことではないかと、現在は考えられています。

## 自閉症スペクトラム

この概念は、1996年にご自身も自閉症の子どもを持つイギリスの児童精神科医、ローナ・ウイング博士が提唱したものです。いわゆる自閉症からアスペルガー症候群または高機能自閉症まで、知的な遅れがない例から重度の知的な遅れがある例までを連続したひとつの流れとしてとらえています。

## 3つの大きな特徴があります

### 人とうまくつきあえない

- 目と目を合わせて会話がうまくできない。
- うれしい時などの表情がうまくできない。
- 身ぶり手ぶりでの表現が苦手。
- みんなと一緒に遊ぶことが苦手。
- 暗黙のルールが理解できない。



### コミュニケーションがうまくとれない



- 相手の言っていることの理解が苦手。
- ことばを覚えて使うことが難しい。
- 会話がうまくいかない。
- たとえ話の理解が苦手。
- ことばの発達が遅れることがある。

### 想像力がとぼしい、こだわりが強い

- ごっこ遊びがうまくできない（みたてることが困難）。
- ～したら、～になるだろうと考えることが苦手。（自分で具体的に実行してみないと納得しない。実証主義者）
- 同じ色のミニカーを集めてきちんと並べる。すこしでも曲がっていたら許せない。
- 決まった道順でないと行けない。決まったやり方でないと行動できない。
- 同じ行動をくり返す。手をひらひらさせる。水遊びをくり返す。



あって高等学校、中等教育学校、盲学校、聾（ろう）学校及び養護学校に在学する者を含む。）がその障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるようにするため、適切な教育的支援、支援体制の整備その他必要な措置を講じるものとする。

## 第三章 発達障害者支援センター等

（発達障害者支援センター等）

【第十四条】都道府県知事は、次に掲げる業務を、社会福祉法人その他の政令で定める法人であって当該業務を適正かつ確実に行うことができる認めて指定した者（以下「発達障害者支援センター」という。）に行わせ、

又は自ら行うことができる。

- 一 発達障害の早期発見、早期の発達支援等に資するよう、発達障害者及びその家族に対し、専門的に、その相談に応じ、又は助言を行うこと。
- 二 発達障害者に対し、専門的な発達支援及び就労の支援を行うこと。
- 三 医療、保健、福祉、教育等に関する業務（次号において「医療等の業務」という。）を行う関係機関及び民間団体並びにこれに従事する者に対し発達障害についての情報提供及び研修を行うこと。
- 四 発達障害に関して、医療等の業務を行う関係機関及び民間団体との連絡調整を行うこと。
- 五 前各号に掲げる業務に附帯する業務

# いろいろな発達障害

## ●広汎性発達障害(自閉症)

自閉症スペクトラムとほぼ同じことと考えられています。どのタイプにも「3つ組の障害」があり、支援の方法は共通しています。

### 【知的障害のある自閉症】

知的障害、言語障害があるタイプの自閉症。ことばで表現したり、文章を書く、計算する等、学習全般が苦手です。時間等の抽象的な概念の理解が難しいといった特徴があります。

### 【アスペルガー症候群】

ことばの遅れがないタイプの自閉症。一見して障害があるように見えないこともあります。対人関係や、他者の気持ちの推測力、すなわち心の理論の障害が特徴とされています。特定の分野への強いこだわりや不器用さを持っていることが多く、軽度の知的障害を伴う場合もあります。

### 【高機能自閉症】

知的な発達が正常である自閉症のことです。アスペルガー症候群とほとんど同じ意味で使われることがあります。ローナ・ウイング博士は、少なくとも臨床的には区別する必要はないとしています。

## ●LD(学習障害)

聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態を指すものです。中枢神経系に何らかの機能障害があると推定され、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではありません。

## ●ADHD(注意欠陥多動性障害)

注意力・衝動性・多動性を年齢や発達に応じてコントロールできないことを特徴とする障害です。中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されており、不注意優勢型、多動／衝動性優勢型、混合型の3つのサブグループがあります。

具体的な  
支援  
(自閉症スペクトラムの場合)

### 支援を始める前に知っておきたい大切なこと

自閉症、ADHD、LD等の発達障害は、最終的には医師の診断によって決まるものです。発達障害の疑いがある場合、勝手に決めつけず、まず相談機関に連絡を取ってみましょう。早期に気づき、特性に応じた理解・支援をしていくことは、より良い育ちを促します。

### ①前もって知らせる(事前予告)

自閉症の人は、予定がわからないことに不安や苦痛を感じます。いつ、どこで、何を、どれくらいするのか、いつ終わるのかがわかると安心することができます。その日の予定や変更、終了、次の予定を、スケジュール表など、見える形で伝えてください。

### ②具体的で簡単な言い方で伝える

私たちは、相手の目を見たり、表情を見て、相手がどんな思いや気持ちでいるかを知ることができますが、自閉症の人たちはそういうことが苦手なので、「どうして立っているの?」ではなく、「すわって勉強しましょう」など、具体的に期待されていることをわかりやすく伝えてください。

### ③集中できる工夫を

音の多い所や、人の多い場所は苦手です。できるだけそんな所は避けてください。すこし興奮気味になった時には、静かな場所(保健室など)で、すこし休ませてください。

### ④おだやかでやさしい話しかけを

大きい声を出すと、おこられていると思ってしまいます。こんなときは、何を言っても聞きとれません。おだやかでやさしく話しかけてください。

### ⑤自信をつけさせる

「それはだめ」「うるさい」など、否定的な言い方にはとても敏感です。「こうした方がいいよ」とか「静かにする方が好きだよ」など、肯定的な話し方をしてください。得意なことを伸ばして、自信をもたせてください。

大阪市発達障害者支援センター(エルムおおさか)では、  
発達障害のあるご本人とご家族の皆様が、  
安心して地域で暮らしていくようサポートしています。

## ●サービス内容●

### 相談支援

発達障害のあるご本人や  
その家族、関係機関、施設  
等からのご相談を受け、情  
報提供や助言を行います。



### 就労支援

就労を希望する方を対象と  
して、関係機関との連携を  
図り、就労に向けての情報  
提供や助言を行います。職  
場に関するご相談にも応じ  
ます。



### 療育支援

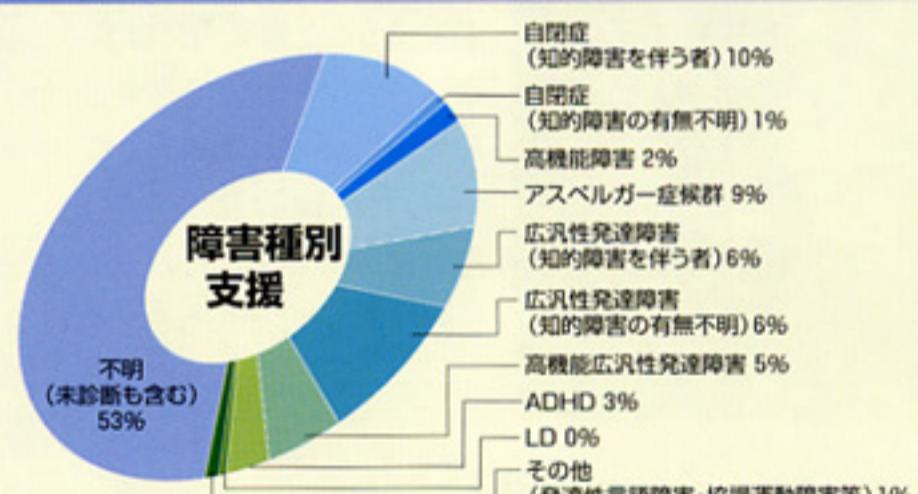
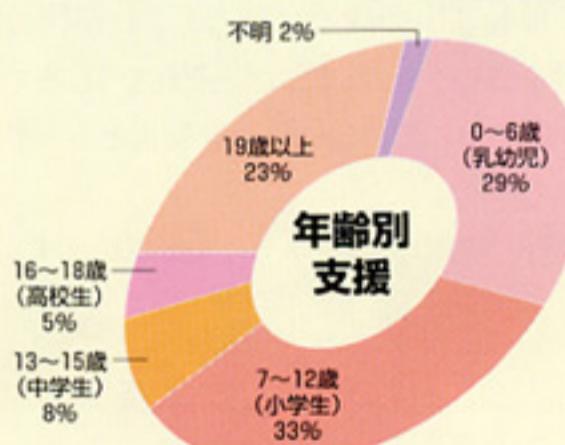
幼稚園・保育所・学校・施  
設等の所属機関と連携し、  
問題解決・軽減のための  
支援を行います。必要に応  
じて、心理検査も実施します。



### 啓発・研修

パンフレットやホームページなどを活用して発達障害に  
関する情報を提供すると共に、発達障害の正しい理解や支  
援の方法を広めるための研修を行います。  
福祉・保健・医療・教育・就労など、関係職員の専門性を  
高めるための研修や、家族のための研修も行います。

## ●昨年度の相談状況●



## ●相談・申し込みの手順●

- ①まず、電話・FAXメールで、面談日の予約をしてください。
- ②所定の相談用紙を、お送りします。
- ③相談用紙に必要事項をご記入の上、面談日の1週間前までに返送・返信して下さい。

**06-6797-6931**  
**FAX 06-6797-6934**

Eメール hattatsu-shien@feel.ocn.ne.jp

### ●ご相談は…

電話もしくは来談でご相談に応じます。  
電話相談は1件につき30分、来所相談は1件につき約1時間です。  
ご相談の内容により、今後の支援方針を検討します。

### ●支援内容

個別相談／関係機関訪問／助言／連携支援／講師派遣

住所／〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55  
大阪市立心身障害者リハビリテーションセンター2階  
受付時間／午前10時～午後4時  
(月曜日から金曜日まで ※祝日を除く)

★緊急時は、ご都合に合わせて対応します。ご相談ください。

# ●インクルージョン・ミーティング

今年は、「ソーシャル・インクルージョン」をテーマにしています。

ソーシャル・インクルージョンとは

社会全体の中に、自立生活上何らかの支援を必要としている人々を社会の構成員として包み込んでいくという考え方です。

## 「ヘレン・ケラーさんとの出会い」①

### ～忘れてはならないこと～

私は以前、日本ライトハウスという目の不自由な方々の施設にいました。13年、そこで働いていたのですが、その時にいろんな啓示を受けました。

鶴見区にある施設ですからご存じの方も多いと思いますが、日本ライトハウスは、大正12年に目の不自由な岩橋武夫さんが創設し、その後ご子息の岩橋英行さんが理事長として運営されてきました。彼も全盲でした。私はふとしたことが原因で退職したのですが、その次の正月、理事長が自死されたという連絡を受けました。そのことがとても悲しく悔しくて、その時から私は、障害を受容するとか、乗り越えるといった傍観的な障害者観を払拭しようと思ったのです。障害を受容するというのは、あなたが生きていく上で、一般の人とは違う重荷を背負わされていることも含めて受容しろというようなことを言ってきたんじゃないかなと、いうことへの反省からです。

多くの方々は「障害があるから働くのは無理だよな!」と思われるかもしれません、私はそうした考え方には真っ向からノーと言えます。障害があるから働く不可以、というのは勝手です。それは障害のある人のサイドから見ると、とてもやりき



講師○特定非営利活動法人

大阪障害者雇用支援ネットワーク代表理事  
広島国際大学 医療福祉学部教授

**關 宏之**

れない汚辱なんだということを忘れてはなりません。

大阪市職業リハビリテーションセンターに勤務するようになって、「いつでも・いつまでも」利用できるいくつかの就労支援センターをつくりました。それは、障害のある方々の要望が強かったからで、よく、ケアマネジメントなどのお話を専門家が「障害者のニーズに応える」という言葉をするんですが、障害のある人たちが安心して自分たちのニーズを託せることができるような社会資源が豊富にあるべきだと思います。ニーズは、安心感が担保されて初めて出てくるのだということをご記憶いただきたいと思います。我々に賭けてもらって大丈夫だよという、そういう安心感を伝えることだと思います。

さて、ヘレン・ケラーさんのことです。大阪とヘレン・ケラー、あるいは9月というのはとても深い関係があります。ヘレン・ケラーさんは日本に3回来ました。そして、2回目の来日を契機として、障害者福祉に関するわが国で最初の「身体障害者福祉法」の成立に関与し、わが国の障害者福祉の基盤をつくってくれました。それをうしろで画策したのが岩橋武夫で、まさに大阪の傑物だと言っても過言ではありません。

では、ヘレン・ケラーさんのお話に入りたいと思います。  
(次回へ続く)

### 《ヘレン・ケラーの年譜》

- 1980年6月27日、アメリカ合衆国のアラバマ州タスカンビアで誕生。
- 1982年、2歳（生後19ヶ月）で熱病により聴力と視力を失う。
- 1987年、彼女の両親アーサー・ケラーとケイト・ケラーはアレキサンダー・グラハム・ベルの紹介でマサチューセッツ州ウォーターバークンス盲学校校長アナグノスに手紙を出し家庭教師の派遣を要請。3月3日に派遣されたのが当時20歳のサリヴァンであった。
- 1900年、ヘレンはラドクリフ大学（現ハーバード大学女子部）へ入学。
- 1909年、アメリカ社会党入党、政治活動に従事。
- 1916年、世界産業別労働者組合（IWWiw）にも共感し活動に

参加し、1917年のロシア革命を擁護した。社会から排除された時代で生活は困窮し、寄せ芸人として舞台にも立つ。1903年にAFBに参画してからは穩便に。

1937年、日本訪問。

1948年、2度目の来日。

1955年、3度目の来日。

1968年6月1日、死去（享年87歳）。

写真提供：社会福祉法人日本ヘレンケラー財団